

2020年3月31日

トヨタ・モビリティ基金、タイの病院で新型コロナウイルス対応を行う 医療従事者向けのオンデマンド送迎サービスを実施

新型コロナウイルスによる深刻な影響が拡大する中、各国の政府、医療機関では様々な対策が取られていますが、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金（Toyota Mobility Foundation。以下「TMF」）は、バンコクの病院と連携し、新型コロナウイルス治療に携わる医療従事者向けのオンデマンド型の送迎サービスを実施します。期間は、4月中旬から3か月間を予定しています。

本プロジェクトでは、過酷な勤務が続く医療従事者の通勤の負荷軽減、感染予防のため、衛生的なシャトルバスをオンデマンドで運行します。シャトルバスには空気清浄器を設置し、定期的なシートカバー交換、頻繁な消毒など、衛生面での対処を行い、乗客間に必要な距離の確保などのガイドラインにも従います。

シャトルバスの利用にあたっては、対象者が乗車したい場所と時間をシステム上で指定することで座席が予約されます。そして、その状況を踏まえ、ジャストインタイムの考え方にに基づき選択された最適ルートにてシャトルバスが運行されます。

TMFは、2014年8月の設立以来、豊かなモビリティ社会の実現とモビリティ格差の解消に貢献することを目的に、タイ、ベトナム、インド、ブラジルでの交通手段の多様化や、日本の中山間地域における移動の不自由を解消するプロジェクトへの助成のほか、障害者向けの補装具開発を支援するアイデアコンテストの実施、水素研究の助成、人工知能による交通流最適化の共同研究など、世界のモビリティ分野における課題に取り組んでいます。

（問い合わせ先）トヨタ・モビリティ基金

TEL : 03-3817-9960 E-mail : info@toyota-mf.org



シャトルバス 10 台を準備



車内に空気清浄機を設置。衛生面に配慮